

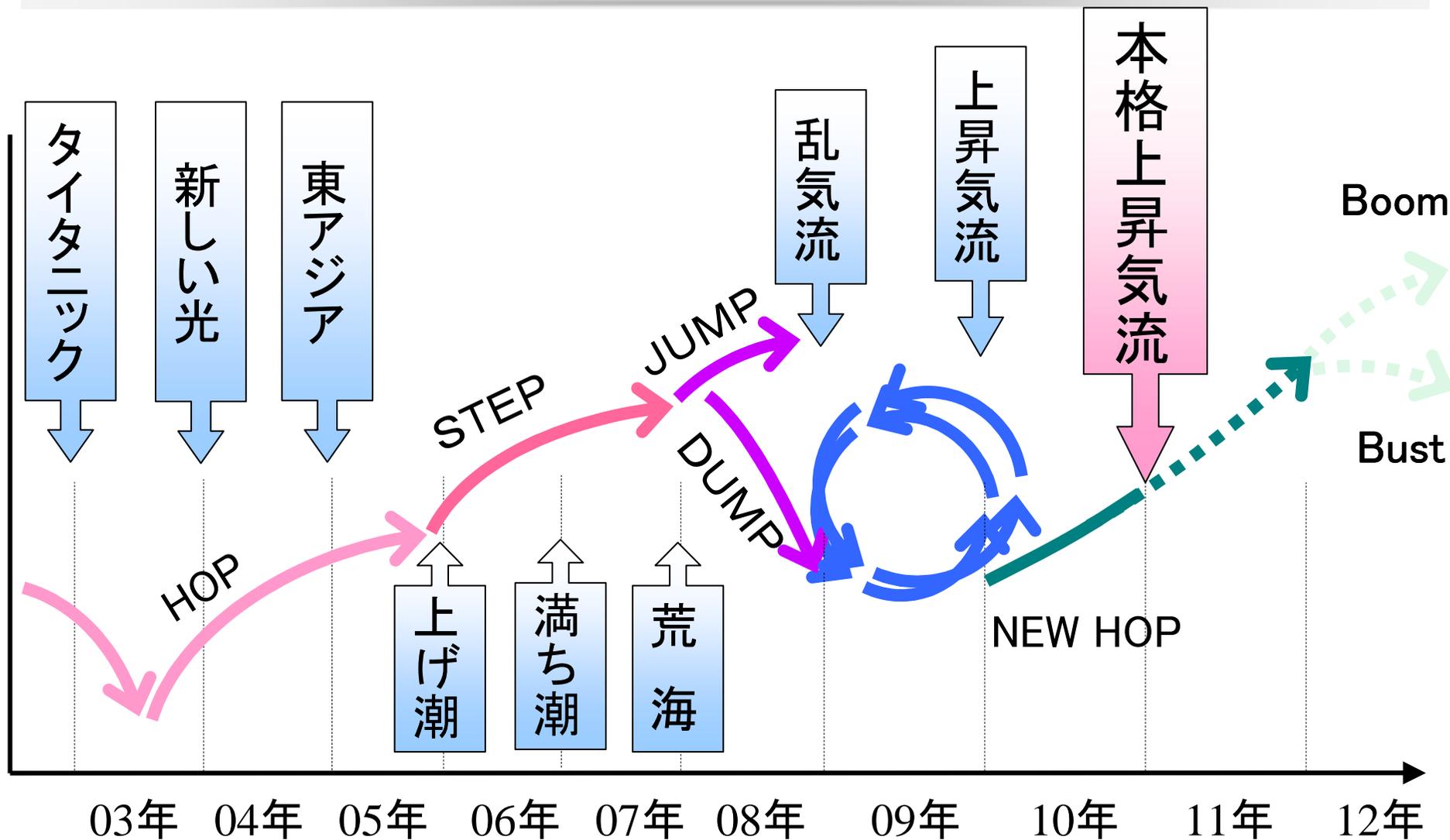
スマートカンパニーを目指して  
一六重苦を乗り越えアイデンティティを確立するために一

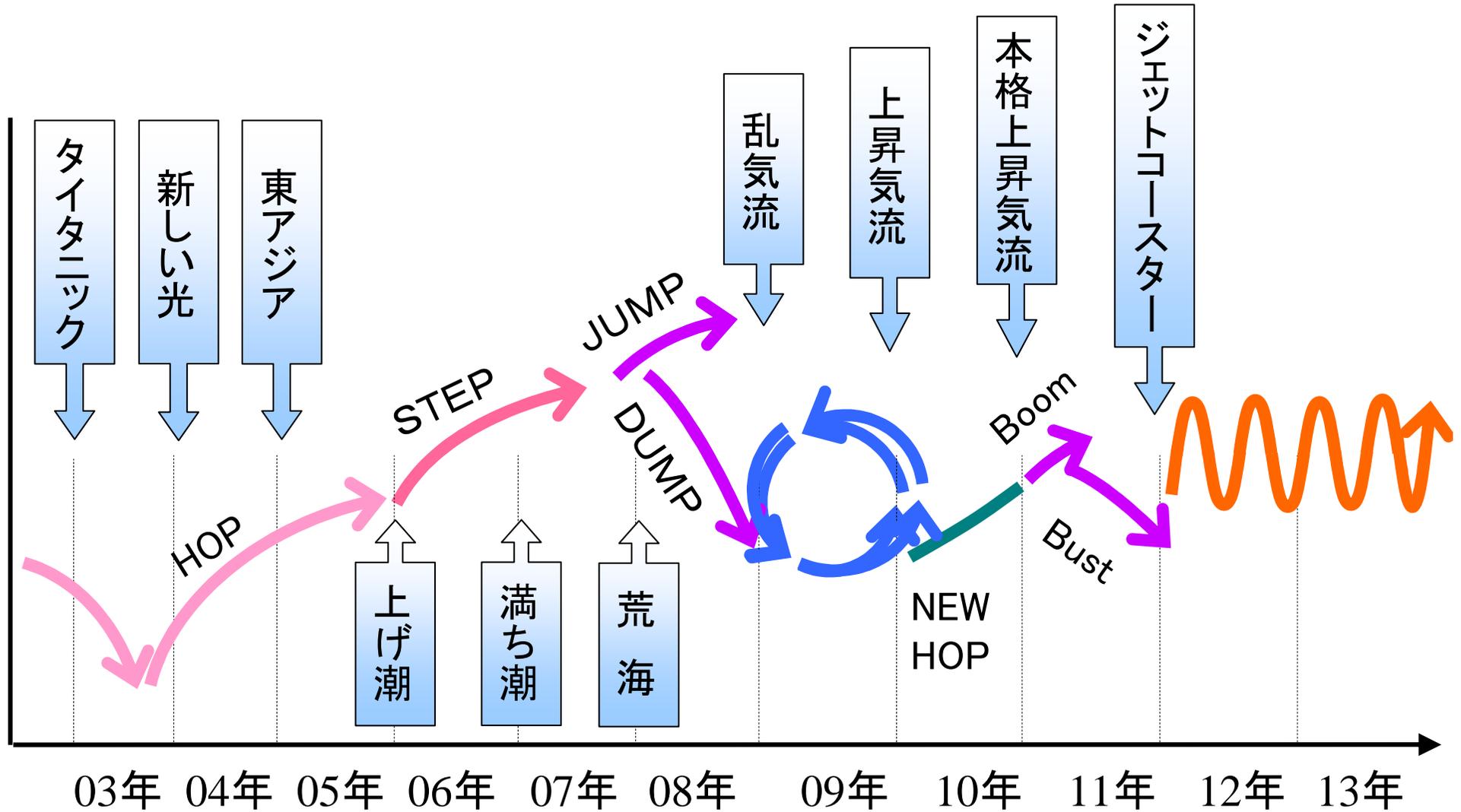
2012年2月2日

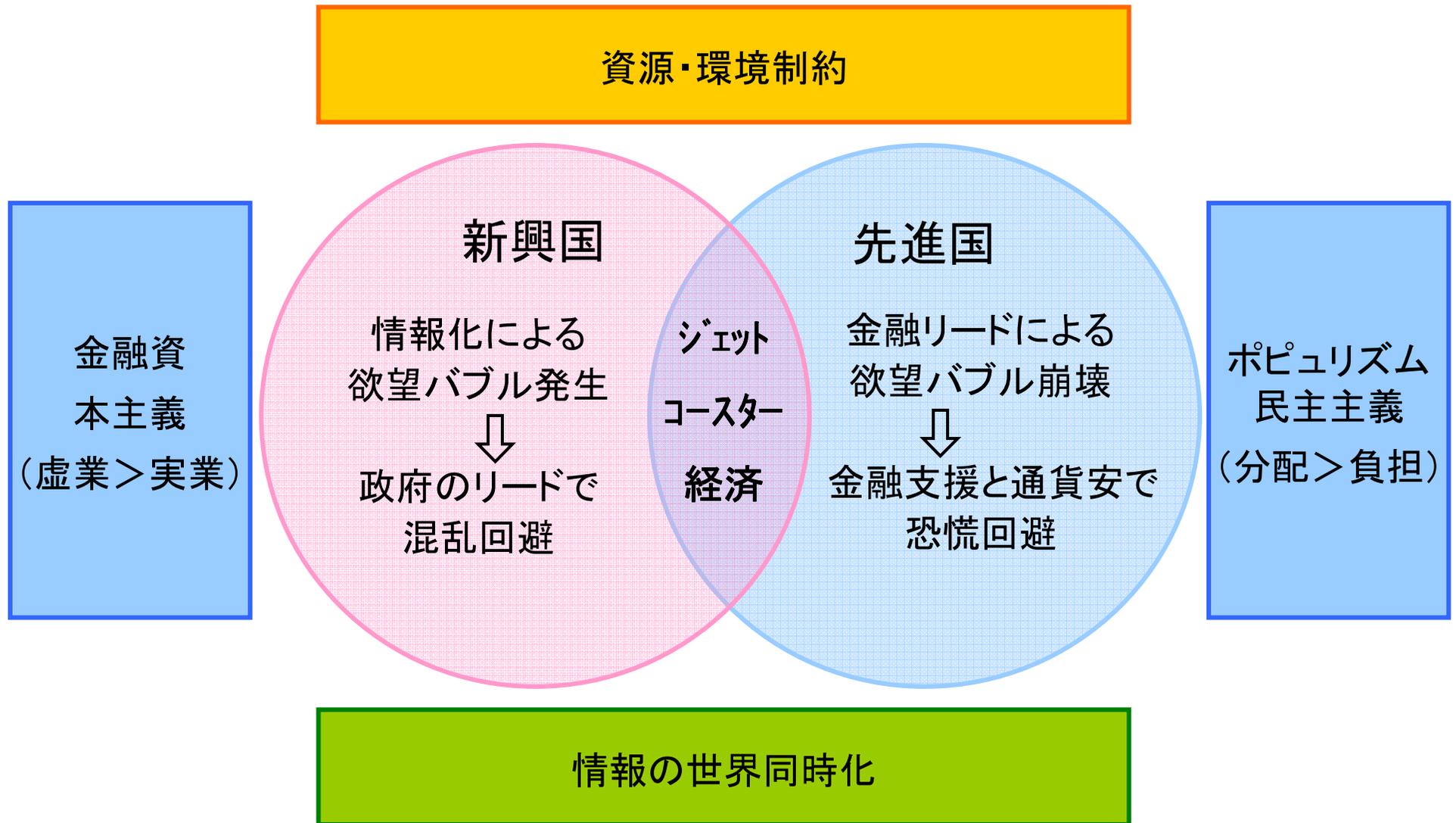
イノベーション・エンジン株式会社

代表取締役社長 佐野睦典

# 本格的上昇気流へ(2011年2月講演資料)







# 三大先進国の様相と新興国

- 世界は今、「米国の企業」、「日本の個人」、「EUのドイツ」が支えている。
- 新興国は、自らの成長パワーを発揮しているが、先進国の揺らぎの影響を受けている。

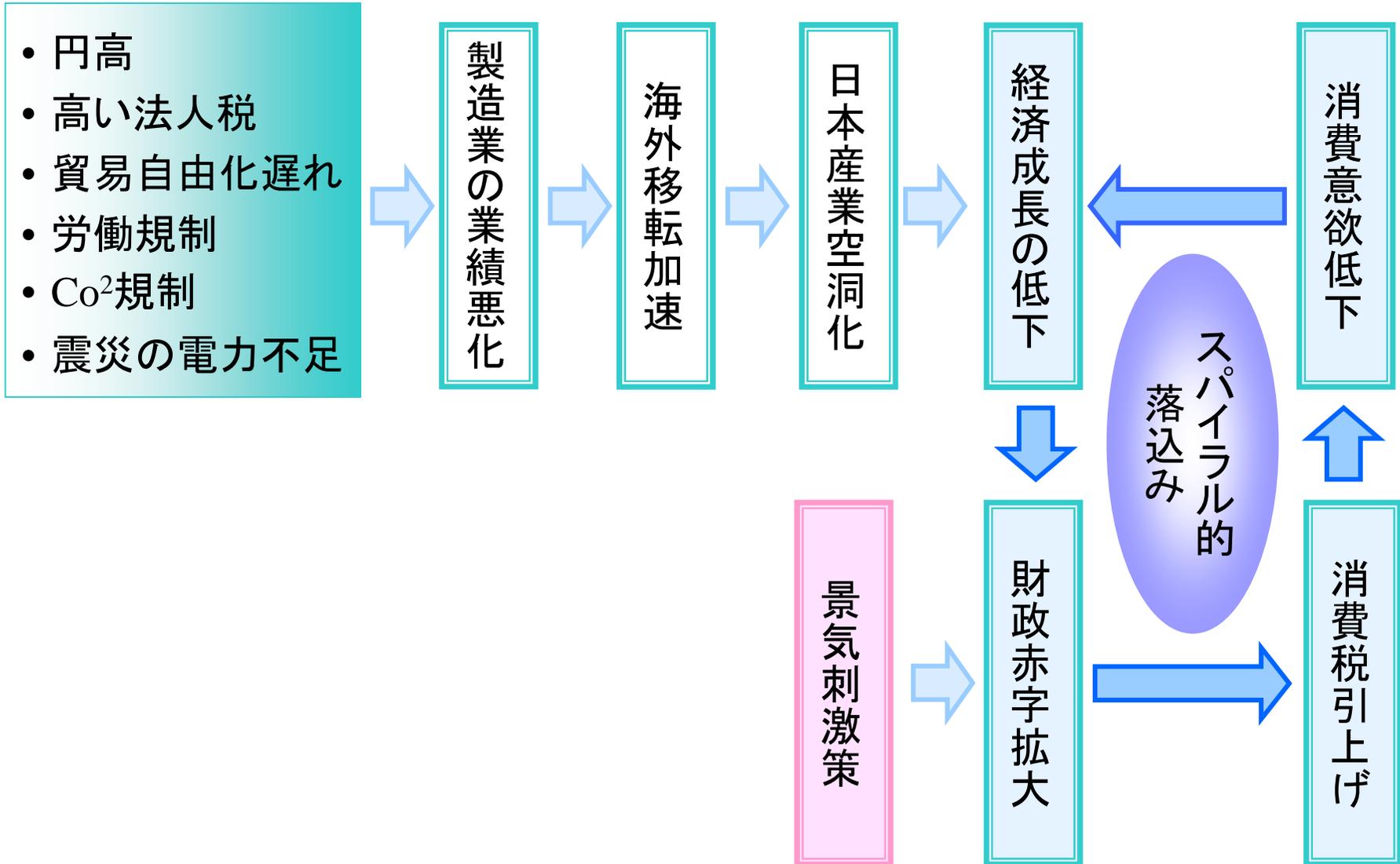
## 新興国

政府・企業・個人  
成長パワー持続

	日本	米国	EU	
			DHLF	PIIGS
政府	X X	X	○	X X
企業	△	◎	○	△
個人	○→△	X	○	X X
ポイント	ダメな政府 優秀な個人	ダメな政府と個人 優秀な企業	ダメな国 優秀な国	

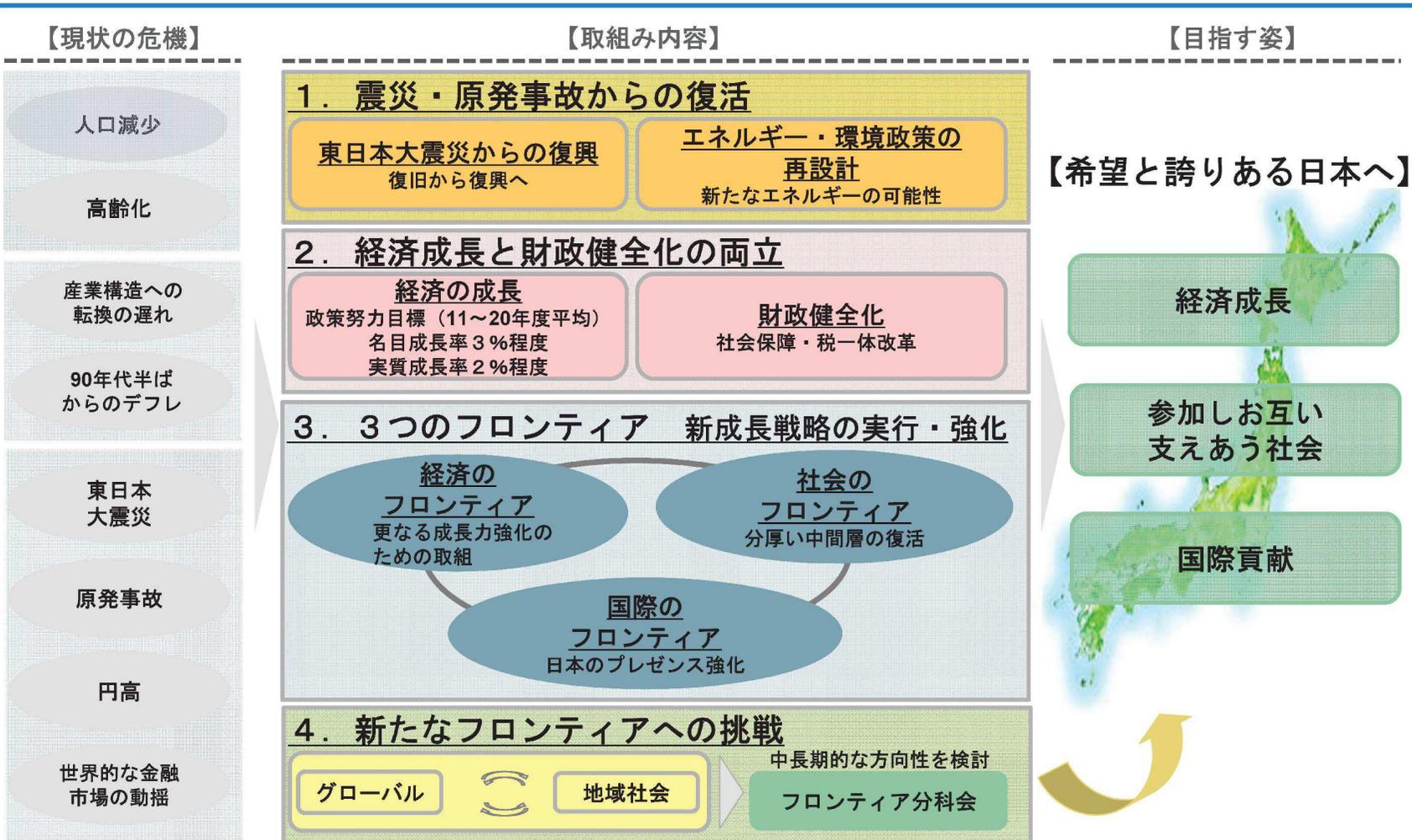
# 六重苦と日本経済の行方

## 六重苦

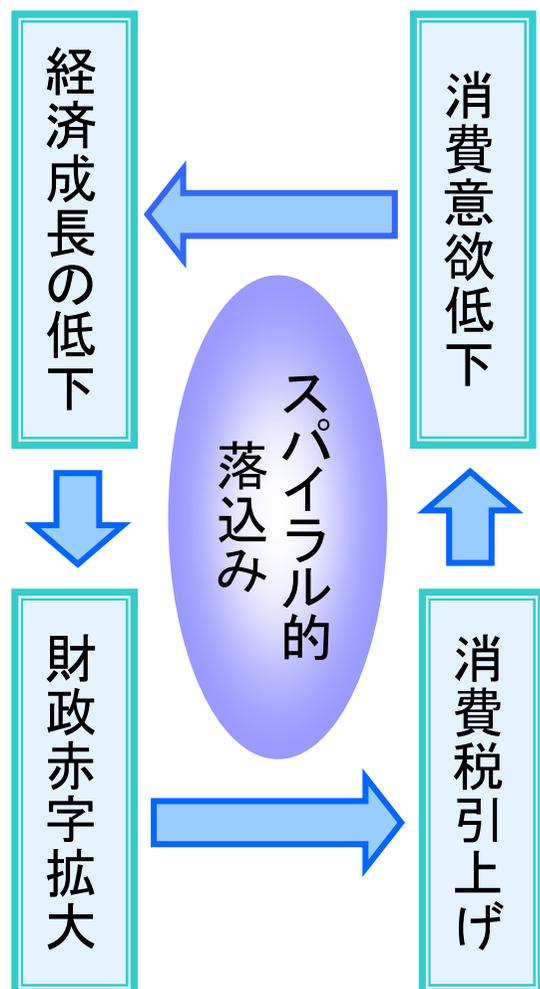


# 日本政府は再生戦略を打出しているが...

## 日本再生の基本戦略 ～危機の克服とフロンティアへの挑戦～



# 日本は「スパイラル的落込み」から脱出できるか



## 脱出のための三条件

- 日本の国の形の明示化と国民の共有
- 「負担」と「分配」のバランスへ向けてのプランと国民の理解
- 国難を乗り越えて実行するリーダーシップ

本当の危機に陥らないと  
日本人は目が覚めない

# 「スパイラル的落込み」によってのみ三条件が整う

## 1. 「スパイラル的落込み」によって起きること

- ① 海外投資家の国債売りによる国債価格の値下がり
- ② 日本の金融機関の信用不安
- ③ 企業への貸しはがしと個人の消費意欲低下による企業収益の低下
- ④ 円安とインフレの同時進行
- ⑤ さらなる個人の消費意欲低下と企業収益の低下

## 2. 「スパイラル的落込み」が起きるのは、2013年か？

## 3. 「スパイラル的落込み」からの復活のストーリー

- ① 税・社会保障の一体改革の実現
  - ・「負担」と「分配」のバランスに目途
- ② インフレによる財政赤字の実質的減少
  - ・個人財産と個人所得の大幅な棄損が起きる
- ③ 円安による企業収益の回復
  - ・コアコンピタンスを究めた企業だけが生残る
- ④ 海外投資からの配当・収益の増大
  - ・グローバル展開からの果実を得る



## 企業経営の要諦:スマートカンパニーへの道

スマートとは・・・

(動作) 活発な、素早い

(性格) 気の利いた、抜け目のない

(知能) 頭の良い、インテリジェンスのある

(服装) 洗練された、おしゃれな

(形状) すらりとした、スリムな

- スマートハウス : 太陽電池や蓄電などのエネルギー機器、家電、住宅機器などをITによりエネルギーコントロールを行い、CO2削減を達成する省エネ住宅
- スマートシティ : 再生可能エネルギー、EVによる交通システム、ビルや家庭の高効率エネルギー利用、などにより、エネルギー構造を高度に効率化した都市づくり
- スマートフォン : インターネットとPC機能を備えた携帯電話
- スマートグリッド : 電力の流れを供給側・需要側の両方から制御して最適化する送電網
- スマート兵器 : ハイテク兵器
- スマートプラネット : IBMのビジョン「地球をより賢く、よりスマートに」
- スマート(自動車) : ダイムラーAGの子会社が製造するマイクロコンパクトカー。元はSwatchとMercedesの合併会社
- スマートテレビ : インターネットとPC機能を備えると共に家庭内の様々なデジタル機器をネットワーク化してデジタルライフの中心に位置するテレビ。SamsungとLGが発表
- スマートジャパンプログラム : 政策投資銀行が創設した融資制度。「世界通じる競争力強化」「まちづくり」「環境・エネルギー」への取組みに対応する。総額5,000億円
- スマートカンパニー : 環境変化対応力を組織IQと命名し、その指数の高い企業。2000年に発売。組織IQを決定づける5条件  
①外部情報への感度の高さ、②内部組織の知識共有と組織学習基準の高さ、③意志決定の的確性と速さおよびその仕組み、④組織フォーカス

1. 骨太・強く・しなやかな戦略ストーリーを持つ
  - ジェットコースター経済にも揺るがない次世代を見据えた戦略創出（できること、したいこと、すべきこと、勝てること、を追求する）
2. 徹底的なソリューション主義
  - 顧客の使い場から生まれる解決策こそが価値を生む。先読み、逆読み、合わせ技、など工夫する。驚き、喜び、感動、納得、を提供できるか。
3. プロデューサーカンパニーとなる
  - ソリューションのために自社で出来ることは限られる。自社商品に加え他社の商品、サービスを組合わせトータルなシステムを提供することが重要。

## 4. コア集中主義

- ・ 世界に誇れるコアコンピタンスを徹底的に究める。深く、太く、しなやかな活動が求められ、それにより初めて、他のオンリーワン企業との協業が可能になる。

## 5. アンビエントネットワークの活用

- ・ 情報化は、ユビキタスから進化し、アンビエントとなる。自らの身の回り全てが情報化・ネットワーク化される。言語と同様の情報リテラシーが求められる。

## 6. スリム&スピード

- ・ 情報と欲望の世界同期化により、知識と技術も急速に世界平準化してくる。これまでの3倍のスピードとそのための経営のスリム化が必須である。



# スマートカンパニーを目指す

---

## 7. トランスナショナルカンパニー

- 日本立脚が最大の経営リスク。膨大な負債を抱える日本政府はリーダーシップなき迷走を続ける。
- 日本を復活させるためにも、日本の強味を武器に海外に進出、トランスナショナルカンパニーとして変身する。